

避難時の行動



●避難はみんなで！災害時要援護者(要配慮者)への声かけも忘れずに！

単独行動は危険です。なるべく複数人で避難するように心がけましょう。また、近所に高齢者や障がい者がいる場合は、声を掛け合って避難しましょう。普段からのコミュニケーションが大切です。

●山の斜面や塀などから離れて避難

避難するために崩れる危険性の高い場所を通る必要があるときは、できるだけ離れて歩きましょう。

●冠水時の足元に注意

冠水した道路は、側溝やマンホール、障害物が見えにくく危険です。棒や杖を使い、確認しながら避難しましょう。

※膝下程度の水位の場合は、水圧により身動きがとれず避難ができない場合があります。また、長靴での避難は水が入り込み、動きが制限されます。スニーカーなど動きやすい靴で避難してください。

こんな時は、速やかに避難！！

▶警戒レベル3(高齢者等避難)以上の指示が出ている

警戒レベル3から5までは、市が発令します。警戒レベル4の避難指示が発令されるまでに必ず避難してください。また、**警戒レベル1から順番に発表されるとは限りません**。状況が急変することもあるので、注意してください。

▶地震などにより、家屋倒壊の恐れがある

家がきしむ、異音が聞こえるなどの前兆現象がある場合は、倒壊の危険性が高い状態です。落ち着いて避難しましょう。

▶土砂災害警戒区域に住んでいる **6月は土砂災害防止月間です**

市内の554カ所が同区域に指定されています。土砂災害警戒情報が発令された時は、速やかに避難してください。事前に指定されている区域を宮城県砂防総合情報システムや市ウェブサイトなどで確認しておきましょう。

☎ 防災安全課危機防災担当 ☎23-5144
建設課道路維持担当 ☎23-8015



▲宮城県砂防総合情報システム



▲大崎市防災ポータル

防災情報の入手

台風や大雨などの気象災害時は、余裕を持って行動できるよう、災害が発生する前からテレビやラジオなどで情報を収集しましょう。

市では、市内各所に設置している防災行政無線のほか、市ウェブサイトや各SNS、防災ポータルなどを通じて、警戒情報や避難所情報、通行止めの情報など、さまざまな防災情報を発信しています。有事の際に活用してください。

マイ・タイムライン 作成していますか？

マイ・タイムラインとは、台風の接近や大雨によってこれから起こる災害に対し、「いつ」「誰が」「何をするのか」といった防災行動を警戒レベルと連動させ、時系列に整理した自分自身(マイ)の防災行動計画(タイムライン)のことです。

避難する際の行動のチェックリストや判断のサポートとして有効です。命を守るための最善の行動を取るためにも、自分に合った避難に必要な情報・判断・行動を整理したマイ・タイムラインを作成しましょう。

国土交通省ウェブサイトの『Webでマイ・タイムライン』でも作成できます。

▲国土交通省ウェブサイト



▼切り取り線で切り取って、活用してください。

平常時の確認事項

- 自宅の状況を確認
自宅の危険性についてハザードマップから確認 浸水深 ～
- 避難する場所 第1候補 第2候補
- 避難所までの交通手段
第1候補 徒歩 分 自動車 分 第2候補 徒歩 分 自動車 分
- 避難する際に「支援してくれる」人 支援する
①名 前 ②名 前
①連絡先 ②連絡先

低

警戒レベル1
早期注意情報

警戒レベル2
洪水注意報
大雨注意報など

警戒レベル

警戒レベル3
大雨・洪水警報
「高齢者等避難」を発令
高齢者などは危険な場所から避難を開始

警戒レベル4
川が氾濫危険水位に到達
「避難指示」を発令
全ての人は危険な場所から避難を完了

高

警戒レベル5
川が氾濫
(大雨特別警報、氾濫発生情報)
「緊急安全確保」を発令
※必ず発令される情報ではありません。

記入欄 備えや注意点を記入しましょう

例) 雨や河川の情報を確認する

例) 近所の高齢者に声かけを行い、避難する

例) 避難場所へ避難

避難完了後 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう

名 前	連絡先